


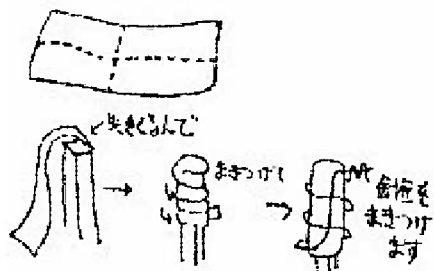
活動名	キャンプファイアー（CF）				
概要	燃えさかる火を囲みゲームやスタuntsを行うことで仲間との親睦を図ります。印象深く、心に残る活動のひとつです。				
時期	4月～10月下旬 (寒すぎない時期)	所要時間	1～2時間 (準備等別)	人数	300人程度まで
活動の持つ効果(特質)	①仲間との親睦を図ることができる。 ②厳粛な雰囲気を経験することができる。 ③「火」をテーマに、自然への畏敬の念をはぐくむ。				
準備物	青少年自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの		
	①ラジカセ（テープ、CD、MD、ラジオ） ②ワイヤレスアンプ・マイク ③グラビノーバ、ギター ④常火長・女神の衣裳と杖 ⑤延長コード ⑥CD（音楽ソフト） ⑦なた、かま、バケツ、スコップ、一輪車		<input type="checkbox"/> ファイアー用の薪 <input type="checkbox"/> トーチ（トーチ棒+布） <input type="checkbox"/> 灯油 ※薪やトーチは売店で購入可（灯油含） 薪…5,650円 トーチ（針金付）…100円/本 布は別です <input type="checkbox"/> 虫除けスプレー その他		
手順	①日没前に、団体の担当者と自然の家職員との打合せをします。 ・場所の確認、道具の貸出、後片づけの方法など ②購入物品の受け取り、会場設営を行います。 ・薪の組み方やトーチ棒の作り方は、別途資料をお貸しします。 ③活動後は、片づけと清掃を行い、借用物品を返却します。 ・残り火はできるだけ燃やし、22：00までには消火するようにしてください。 ・翌朝9：00までに所定の灰捨て場に燃えかすや灰を捨ててください。 ・使用済みトーチを所定の場所に片づけてください（針金を外すこと）。				
留意点	①自然の家職員によるプログラムの進行案立案の助言は可能ですが、当日の指導や進行は団体が行います。 ②事前に、CFの概略や意義、心構えについて説明・指導することで、プログラムをスムーズに進めることができます。 ③手持ちトーチを使用する場合には、火の付け方や持ち方の指導を事前に行うようにします。 ・炎は上に上がりますから、トーチ棒を下に向けないように注意します。 ④他団体の活動や自然環境に十分配慮してください。 ・打ち上げ花火は禁止です。 ⑤雨天時や強風の時には中止します。				

<p>活動例</p>	<p><ボンファイアー：親睦の火> ゲームや歌、踊りなど楽しい雰囲気で行います。</p> <p><セレモニーファイアー：儀式の火> 厳粛な雰囲気で行います。特に、開閉会時の儀式として使う場合が多く、営火長の言葉や参加者代表の言葉は、厳粛な雰囲気の中でより効果的なものとなります。</p> <p><グループファイアー：団らの火> 少人数のグループで小さな火を囲んで行います。大人数では体験できない仲間との親密なコミュニケーションがとれる場となります。グループワークを主体としたプログラムでは、活動のふりかえりや他者への深い理解など、カウンセリングの有効な手段ともなります。</p> <p><カウシルファイアー：会議の火> 話し合いを目的として、静かな雰囲気の中で行います。長期宿泊の初日の夜には、今回のプログラムのオリエンテーションとして活動の意義や目的を伝えたり、最後の夜にはまとめや反省などを話し合うことに使われたりします。</p>
<p>展開例</p>	<p>第1部 迎火の儀式（15分くらい）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日暮らしのつどい（歌の練習をしたり、注意事項を伝えます） ②入場 ③歌（営火を迎えます） ④営火入場 ⑤はじめの言葉…営火長の話 ⑥点火 ⑦歌 <p>※留意事項・本番は暗いので、歌詞を覚えておきます ・静かに厳粛な雰囲気をつくります ・点火の方法や営火長の服装を工夫します</p> <p>第2部 親睦の火（約60分～90分）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ゲーム（参加者の緊張をほぐすために楽しい雰囲気をつくります） ②歌（歌声を合わせて参加者相互の友情を深めます） ③スタンツ（グループ単位での出し物で楽しみながら団結力を深めます） *その他、ダンスなどを入れてもよいでしょう <p>※留意事項・司会は事前に出し物の内容を把握しておきます ・火の方を向いて話します ・薪はスタンツの間に入れます</p> <p>第3部 送火の儀式（約15分）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歌（静かに心が落ち着くような曲） ②分火（班または1人1人のトーチ棒に点火して「誓いの言葉」を言います） ③終わりの言葉…全体の代表者の話 ④歌（ファイアーの終わりを惜しむ歌、友情の確認ができるような歌） ⑤退場 <p>※留意事項・盛り上がった気持ちを静めるような流れにします。 ・炎は大きくない方がよいです ・トーチ棒の後片づけを忘れずに行います ・余韻のある終わり方を演出します</p>



営火場

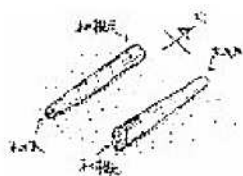
トーチ棒の作り方



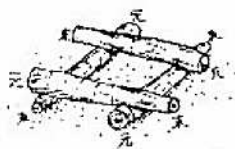
- ・古タオルを1/4ずつに切ります
(丸1/4で約10分、1/2で約15分燃えます)
- ・トーチ棒の先に巻き付けます
- ・針金を巻き付けてとめます

まきの組み方

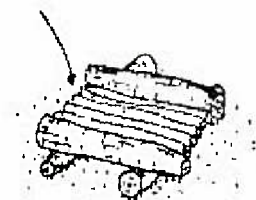
- ①丸太の太さを左右逆にする



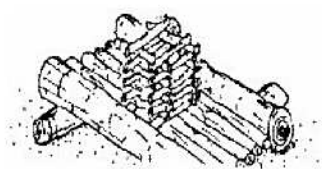
- ②東西方向に2段目の丸太を平行に置く



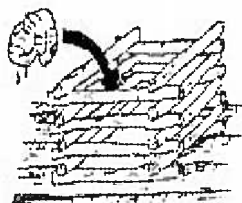
- ③2段目の丸太の間にロストル用の丸太をしきつめる



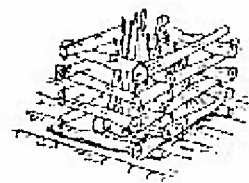
- ④ロストルの上にまきを使って中井桁を組む
(10段程度の高さ)



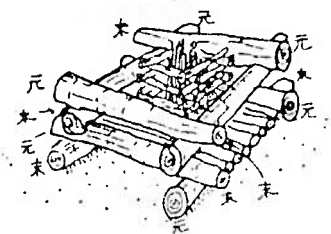
- ⑤中井桁の底に、灯油をひたして丸めた新聞紙(1枚)をしく



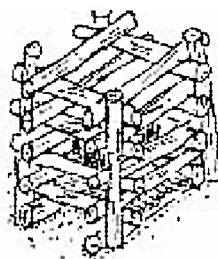
- ⑥中井桁の周りに割ったまきを縦につめこむ



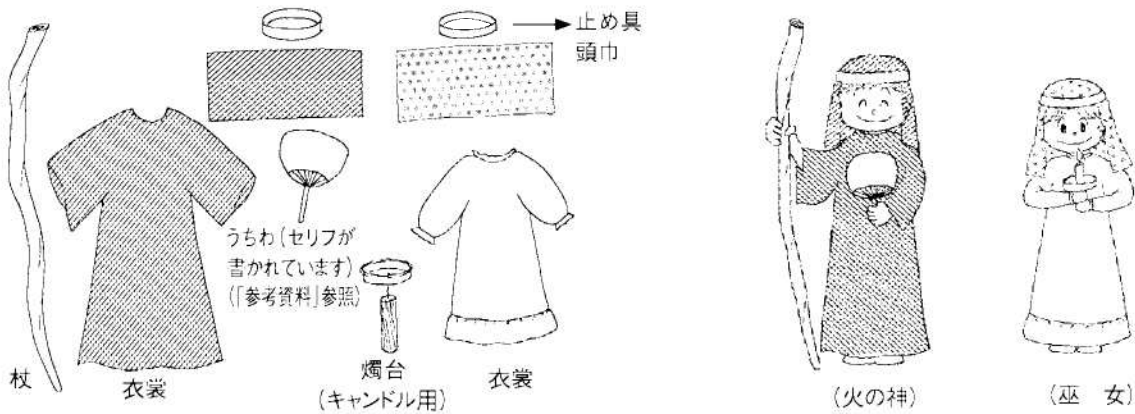
- ⑦太くて長い丸太から順に井桁を組んでいく
(きれいに組むコツは丸太の元と末を交互に組むこと)



- ⑧四すみに縦木を置いて井桁を安定させる



貸出し物品



事務室でお渡しするボックスに、火の神(1)、巫女(2)のセットが入っています。

なお、「ひげ」や「お面」など顔につけるものや、上記以外のものが必要な場合には各団体でご用意いたします。

参考資料

【迎火の言葉】

- ・われは長者ヶ原の台地より ○○○学校○年○○○名の皆さんのために使わされた火の使いである。
- ・ここ、長者ヶ原は長門峡自然公園のなかにあり、広大な草原と起伏にとんだ山野がある。こうした恵まれた大自然の中で過ごす体験活動が楽しい思い出となるように、しばらく耳を傾けよ。
- ・今、この圍の中で使いのもつ、火を見るがよい。
- ・火は人間に与えられた宝物である。。今日の文明が火によって築かれたことを知っているか。
 第一に、めらめらと燃えるこの火は醜いものを一切焼きつくす力の源である。
 第二に、暖かさと明るさを与えてくれる火は愛情を教えてくれる源である。
 第三に、闇夜の一点としての道しるべでもある。
- ・以上、この三つの教えから、どんな苦しみにも打ち勝つ力と人や自然を愛するやさしさを身につけるがよい。
- ・では、皆さんの幸せを願って情熱、愛情、友愛の光を与えよう。

【送火のことば】

- ・今宵あかあかと燃え続けた火も、今まさに終わりを告げんとしている。たとえ、この火は消えるとも、お互いの心の中に燃える火はいついつまでも消えることなく、諸君のこれからの進みゆく中で、励ましと勇気を与えてくれるであろう。この火をしっかりと見つめよ。
- ・心にしっかりきざめよ。